



IIDA MUNICIPAL HOSPITAL NEWS

飯田市立病院

News

NO. 84  
2022. New year



2p 年頭所感

3p 中央受付リニューアル

4p 5p ねっとわーく 後藤医院  
かかりつけ医をもちましよう

感染予防対策について

6p がん相談支援センターからのお知らせ

7p 話題の広場 薬剤部リニューアル

職場紹介 臨床工学科

8p レントゲン博士の独り言

新任医師の紹介

患者さんの声

## 笠松山からの雲海

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

### 飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- ⑤私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します



# 年頭所感



飯田市立病院 院長  
堀米 直人

新年あけましておめでとうございます

今年は、当院がこの八幡町の地に新築移転して30年の節目を迎えます。最新鋭の装置を備えた新病院は平成4年10月から診療をはじめました。開院当時アップロードははまだ全線開通しておらず、飯田インターチェンジから東に下ると終点が病院入口で、周囲には建物もまばらで現在とは隔世の感があります。

この30年間で災害拠点病院、地域医療支援病院、臨床研修病院、新型救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院そして地域周産期母子医療センターなどの指定を受けました。これからも地域の急性期医療の最後の砦との自覚をもって、信頼される医療を実践して地域の皆様の健康を支えてゆきます。

さて、今年病院が取り組まなければならないことの1番目はコロナ感染症（COVID-19）対応です。発生以来3年目を迎え、変異を繰り返す度に感染拡大の「波」に襲われました。個々にはマスク、手洗い、ソーシャルディスタンスとワクチン接種による感染予防をおこないつつ、withコロナ：コロナ感染症下でも社会活動は活発化しています。当院は感染症指定医療機関として、外部から持ち込まれる検体も含め抗原検査やPCR検査の実施、陽性者については主に中等症～重症症例に対応しますが、当圏域では他に6病院がコロナ病床を確保して治療にあたっています。また、その中にあるも当院が地域で果たす役割であります救急医療、がん診療、周産期小児医療や、高

度医療も守っていききたいと思います。

2番目は医療の質の向上です。今年の見玉はMRI装置2基を更新することです。新しいMRIは、最新の技術により患者さんの負担を減らし、快適な検査環境と効率よく高精度の画像が撮影できます。

ここ数年行なってきました病院のリフレッシュ工事が完了し、病棟はもちろん、外来受付や患者サポートセンターも明るく広くなりました。

将来を担う人材育成も当院の使命のひとつです。今年には医科7名、歯科1名の初期研修医が当院で研修を始めます。また、医科歯科学学生、看護学生や薬学・臨床検査やリハビリテーションなどの学生さんの病院実習も積極的に受け入れています。

3番目は地域医療機関との連携推進です。今年4月には診療報酬改定が行われますが、その目指すところは地域包括ケアシステムの構築と、コロナ禍により中断していた三位一体の改革（地域医療構想、医師少数区域・診療科偏在の是正、働き方改革）を進めるとのことです。きめ細かい病・診連携を構築してかかりつけ医の皆様からの紹介患者さんを診療し、治療後はまたかかりつけ医へ戻って診療を継続していただき、その際はism-Linkで情報を共有してタイムリーな治療や対応ができるようにしたいと思います。

患者さんへの心配りを忘れずに、きめ細かな看護をさらに進めることで地域の皆さまに安心してかかっていただけ病院にしたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。





### 後藤医院

- 診療科目 内科・小児科・消化器内科(胃腸内科)
- 院長 後藤 暁
- 所在地 〒399-3104 下伊那郡高森町上市田630番地1
- 電話番号 0265-35-2205
- 往診 可
- 駐車場 あり



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○		
14:00～16:00	訪	訪	訪	休	訪	休	休	休
16:00～18:00	○	訪	○	休	○	休		

※訪：訪問診療に出ているため、外来診療は行っていません

### 【医院紹介】

地域のかかりつけ医として日々の診療を行い、その中で在宅医療にも力を入れています。

在宅医療とは、生活の場で行われる医療で、通院困難な患者さまが過ごす自宅などに医師や看護師が訪問して行われる医療です。加齢障害や老衰、脳血管障害の後遺症、認知症、心不全や呼吸不全などの臓器不全、骨折の後遺症、がんなどで通院が困難となった患者さまに訪問診療を行っています。それ以外でも、訪問診療を希望される方にはできる限り対応したいと存じますので、ご相談ください。

最期まで自宅で過ごしたいと希望されていても、自宅で看取るといことはご家族にとって不安が大きいと思います。特に体調の急変を心配されることが多いと思いますが、訪問診療を行っている患者さまとはいつでも医師と連絡が取れるようにしています。24時間365日の対応をするため、

他の医療機関（病院・診療所）や訪問看護ステーション、ケアマネージャーなどの介護事業者と密に連携しています。連携する施設とICT（情報通信技術）を利用した飯田下伊那診療情報連携システム [ism-Link] を活用して医療・介護情報を共有し、在宅療養支援チームとして患者さまを見守り、生活を支えています。



後藤先生(前列)とスタッフの皆様

## 感染予防について

感染予防対策の基本である「手洗い」はもとより、身体的に離れるフィジカルディスタンスがとれない状況下での「マスク着用」「3密の回避」「換気」等の感染予防対策は大切です。

新型コロナウイルスに限らず、同じ感染経路（飛沫・接触）をもつ冬季に流行する「インフルエンザ」や「ノロウイルス」への予防対策にも効果を発揮します。

昨年を振り返ると、感染対策が行われた結果、冬季には長野県下でインフルエンザの発生は見られませんでした。

## 登録医とは…

共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

## ◎「かかりつけ医」をもちましょう



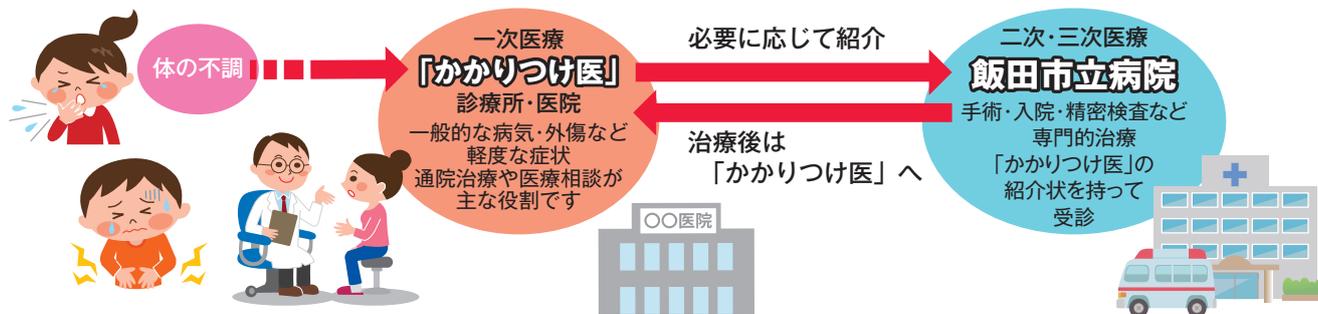
かかりつけ医とは、なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介できる身近で頼りになる医師のことです。

国は、医療も介護・住まい・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現を目指していますが、その中心的な役割を担うかかりつけ医をもつように国民の皆さんに呼び掛けています。

頼りになるかかりつけ医がいれば、具合が悪くなった時などに、すぐ相談でき早めの対策がとれます。住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも、身近なところでかかりつけ医を見つけてみましょう。

## ◎飯田市立病院の機能・役割

当院は、救急センターにて24時間救急患者の受け入れをしています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携や役割分担を進めるため、入院医療を中心とした医療提供体制を敷いています。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の医療機関との役割分担を一層進めて参ります。

現在、オミクロン株により第6波ともいわれる感染が広がっていますが、新型コロナウイルス感染症への対策は、他の感染症予防対策にも共通する有効な対策となりますので、基本的な感染予防対策の継続をお願いします。



# がん相談支援センター からの お知らせ

## オンライン がんサロン結 開催しました！



新型コロナウイルス感染対策のため、10月からオンラインで開催しています。

### オンラインがんサロン結とは…

がん患者さんやご家族様の交流の場やがんについての情報提供の場となります。

**開催日**：毎月第1水曜日 15：00～16：00（1時間程度）

**対象**：がん患者さんやご家族様（当院を受診されていない方も参加可能です）

**方法**：オンライン（Zoom）

パソコンをお持ちでなくても、スマートフォンやタブレットでの参加もできます。皆さまが安心してご参加いただけるよう、プライバシー保護ができる場所にて、お顔を出しての参加をお願いしています。

**定員**：7～8名程度

（事前予約が必要です。ご参加を希望される方は、がん相談支援センターへ電話いただくか、相談員に直接申し込み下さい。）



Zoomを使ったことがない方、オンラインが苦手な方には、相談員が事前に使い方を説明したり、相談員と一緒に練習することもできます。一度体験してから参加を検討していただいても構いませんので、お気軽にがん相談支援センターへお声掛けください。今後の予定・2月2日(水)、3月2日(水)です。

### サロン開催の様子

- 11月10日(水)は、当院のがん放射線療法看護認定看護師 白子和志より『コロナとがんと放射線治療』のテーマのもと、がん検診の受診率が下がっていることや放射線治療についての講義を実施いたしました。
- 12月1日(水)は、当院の臨床心理士 加藤美雪より『ストレスへの対処法～リラクゼーション～』のテーマのもと、ストレスの対処法についてなどを話し、実際に呼吸法を実践しました。

#### 放射線治療の特徴

- 手術と違い、切らずに治す
- 治療の効果も、副作用も、当てる部分だけ
- 多くの場合、外来での通院が可能
- 治療の期間が長い
  - 基本的に平日毎日（土・日・祝日は休み）
  - 回数は、がんの種類や病期、治療の目的などによって決定する
  - 長い場合だと2ヶ月程度

#### 放射線治療室の様子

■治療時間は、1日15分程度です

#### 実際に呼吸法を行ってみましょう！

##### 10秒呼吸法の実践

1, 2, 3で鼻からすって

4でどめて



5, 6, 7, 8, 9, 10で口からゆっくり吐く

○がんサロンはオンラインで開催していますが、患者さん同士が直接会う機会は減少しています。不安に感じていること、誰かと話をしたい時は、がん相談支援センターまで、お気軽にご相談ください。

**相談やがんサロン結のご予約・お問い合わせは…**

### 飯田市立病院 がん相談支援センター

**受付時間** 平日 8：30～17：15

**直通電話** 0265-21-2010

**場所** 130 がん診療・緩和ケアセンター内

平成4年に八幡町に移転してから30年間、調剤室・注射管理室・無菌製剤室等は1階と地階に分かれて業務を行ってきましたが、令和3年12月に当院1階に1フロアとしてリニューアルしました。

薬剤部のスタッフは、薬剤師24名、事務員3名、SPD（注射薬調剤の補助業務者）3名の30名です。

薬剤部のセントラル業務は、1階の調剤室にて外来・入院患者さんの内服薬、外用薬の調剤を行い、地階の注射管理室で入院患者さんを中心とした注射薬調剤、無菌的な調製、一般に流通していない医薬品の院内製剤を実施してきました。

この度、1階に1フロアとなったことで、スタッフ相互の顔が見えるようになり、より一層のコミュニケーションがとれることで、繁忙期にお互いにサポートできる体制が整いました。

また、サテライト業務（病棟業務、抗がん薬業務、入退院支援業務等）に薬剤師が関わる時間が増え、業務の効率化を図ることができます。

薬剤師の役割は、これまでの医薬品という「モノ」としての管理から「患者さん」とその「薬物療法」を管理するという業務内容の大きな変革が求められています。

薬剤部の施設が新しくなり、明るくきれいな空間で働けるようになりました。私たちの使命である「薬物療法の有効性と安全性を確保すること」が果たせるように精進して参ります。



注射管理室



調剤室

シリーズ ● 職場紹介 ● その71

【臨床工学科の紹介】

臨床工学科には現在、15名の臨床工学技士が在籍しています。知名度がまだ低く、病院でどのような仕事をしているのかご存知の方は少ないと思いますが、国家資格を持つ医療技術職の1つです。生命維持管理装置の操作や点検、管理を行うのが主な業務となっています。

生命維持管理装置とは人工呼吸器、人工心肺装置、人工透析装置、心臓ペースメーカー等ですが、文字通り患者さんの呼吸や循環、代謝の機能を代替、補助をするための高度な医療機器です。コロナの治療に使用されることで耳にされたことがあるかもしれませんが、エクモ（ECMO：体外式膜型人工肺）も生命維持管理装置です。これらを医学と工学の両分野の知識と技術を持つ臨床工学技士

が、適切に使用されるように管理を行っています。また、飯伊地区で唯一、救命救急センターを有する当院では、患者さんの状態に合わせて日々様々な医療機器が使用されているため、臨床工学科でも365日24時間対応できる体制としています。今後も多職種と連携し安心して治療を受けていただけるよう、チーム医療の一員として努めてまいります。





## CT装置の歴史について

Q CT装置はいつからあるの？

A 約50年前に英国のEMI社が発表しました。

Q CTって何？

A CTとは、Computed Tomographyの略称で日本ではコンピュータ断層撮影といえます。

Q CT装置でどうやって断層撮影をするの？

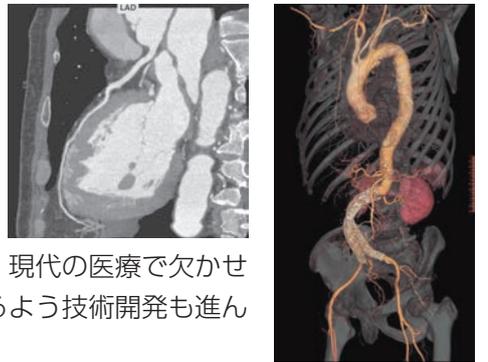
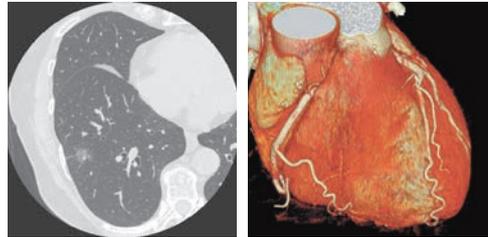
A 体の周りからX線を照射して、得られた断面の情報で画像を再構成し、断層（輪切り）像を得ることができます。

Q CT検査にかかる時間は？

A 5分から20分程度の時間がかかります。

Q 昔と今の違いは？

A 約50年前は、2枚分の断面データ取得に4分、画像作成に1枚7分ほどかかりましたが、現在では、数百枚分の断面データを1秒以下で取得し、数秒～数十秒で画像作成することができます。また、当時は10mm間隔だった断面が現在は1mm以下となり、短時間で画像作成が可能となり、詳細に体の内部を見ることができます。また、薄い断面画像を重ね合わせることで様々な方向から見た断面や、造影剤という薬を使用して血管の3D画像（立体像）を作成することもできます。短時間でデータが取得できるようになったので、常に動いている心臓も画像化できるようになりました。



CT検査は、体の中の様々な画像を得ることができるため、現代の医療で欠かせない検査となっています。また、放射線の被曝が低被曝となるよう技術開発も進んでいます。

### 当院のご意見箱に頂戴した内容をご紹介します

## 患者さんの声



ダイルームから見える南アルプスの山名の表示があると嬉しい。とても素晴らしいながめなので、見ながら1つでも名前を覚えられたら有意義に思います。

この度は貴重なご提案ありがとうございます。ご意見を踏まえ、新たに山名の表示をダイルームへ設置しましたので、ご活用いただければ幸いです。

## 新任医師の紹介 (令和4年1月1日)



眼科

野口 魁斗

(のぐち かいと)

平成30年卒業

令和4年1月1日着任

前勤務病院

中京病院

## あ と が き

明けましておめでとうございます。

病院内の改修工事が行われており、昨年末にも私の所属部署が改装され働きやすくなりました。きれいになった職場で心機一転、仕事やプライベートでも目標を持ち、一年過ごしたいと思います。「一年の計は元旦にあり」と言いますが、皆様のこの一年が充実したものになりますように。

編集委員 田平 優